ちょくでん君Ⅲ

WLNT-131-SB

設置マニュアル

Ver. 1.0

注　意

●ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになった後は、いつでもすぐに見ることができる場所へ保管してください。

改版履歴

日付	バージョン	内容
2013/02/20	Ver.1.0	初版作成
		・

ご注意

１．本書の内容の一部、または全部を無断転載、複写、およびいかなる方法による複製も禁止します。
２．本書の内容に関し予告なしに変更することがあります。
３．本書の内容は万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売会社までご連絡ください。
４．本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予め御了承ください。
５．許可なく改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
６．本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。
これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、当社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
７．本書について当社の許可なく複製・改変などを行うことができません。
８．万一、本書に乱丁、落丁がありましたらお取り替え致します。

輸出に関する注意事項

本製品が外国為替及び外国貿易管理法の規定により、戦略物資等に該当する場合には、日本国外に輸出する際に、日本国政府の許可が必要です。
本製品（ソフトウェア含む）は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービス及び技術サポート等は行っておりません。

廃棄方法について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例や規則に従って処理してください。
詳細は、各地方自治体へお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」では、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

ご使用の前に必ずお読みください。

本文で使用している表示と図記号の意味は次の通りです。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
	禁止 この絵表示は、してはいけません「禁止」の内容です。
	分解禁止 製品の分解を禁止することを示しています。
	水ぬれ禁止 製品を水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用するのを禁止することを示しています。
	ぬれ手禁止 製品をぬれた手で扱うのを禁止することを示しています。
	接触禁止 この製品の特定の場所に触れるのを禁止することを示しています。
	指示 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」の内容です。
	電源プラグをコンセントから抜け 安全のため、外部の電源の供給を止めるように指示するものです。
	アース線を必ず接続せよ アース線を必ず接続するように指示するものです。

＜電源に関するご注意＞

警告	
	本装置の電源は、添付されているＡＣアダプタ以外は、絶対に 使用しないでください。 異なる電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。

警告	
	電源コードの上に物を載せないでください。 コードの破損による火災、感電の原因となります。

注意	
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグが装置に接続してあるときは、ぬれた手で本体に触らないでください。 感電の原因となることがあります。

＜保管及び使用環境に関するご注意＞

⚠ 警告

	本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。 液体が本装置にこぼれたり、本装置の中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。
	本装置を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度９０％以上）では使用しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

	本装置や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。 キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本装置を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本装置を直射日光の当たるところや、温度の高いところ（５０℃以上）に置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

注意

	本装置を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたりして、けがの原因となることがあります。
	本装置を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。 落ちたりして、けがの原因となることがあります。

本装置をラジオやテレビなどのすぐそばで使用するとラジオやテレビに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置などが近くにあると、逆に本装置に雑音が入り、通信障害の原因となることがあります。このような場合は離して使用してください。

＜禁止事項＞

⚠ 警告

	本装置内部の点検、調整、清掃、修理は危険ですから絶対にしないでください。 本装置の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。 本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、お問い合わせ先に依頼してください。
	本装置内部の分解・改造は絶対にしないでください。 火災、感電、故障の原因となります。
	本装置に水などの液体が入ったり、本装置をぬらしたりしないようご注意ください。 火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

	本装置の開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。 そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本装置の上にものを載せたり、本装置に乗ったりしないでください。 壊れて、火災、けが、故障の原因となることがあります。
	雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。 感電、故障の原因となることがあります。

＜異常時及びトラブルに関するご注意＞

⚠ 警告	
	万一、本装置を落としたり、破損したりしたとき、外部のＤＣ電源の供給を止めてから、お問い合わせ先にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、本装置の内部に水などの液体が入ったときは、外部のＤＣ電源の供給を止めてから、お問い合わせ先にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、異物が本装置の内部に入ったときは、外部のＤＣ電源の供給を止めてから、お問い合わせ先にご連絡ください。 そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）ときは、外部のＤＣ電源の供給を止めてから、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
	万一、本装置から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、外部のＤＣ電源の供給を止めてから、煙が出なくなるのを確認して、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

注意

	落雷の恐れがあるときは、本装置の電源を切り、外部のＤＣ電源の供給を止めてご使用をお控えください。 雷によっては、火災，感電の原因となることがあります。
	雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。 感電の原因となることがあります。

＜お手入れに関するご注意＞

 注意

	本装置のお手入れをする際は、外部のＤＣ電源の供給を止めてください。
	購入後、１年に１度は内部の掃除をお問い合わせ先にご相談ください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。 内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。 なお、内部掃除費用については、９章にあるお問い合わせ先にご相談ください。

本装置の汚れは、やわらかい布に水又は中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いてふいたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。
また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので注意してください。

－目次－

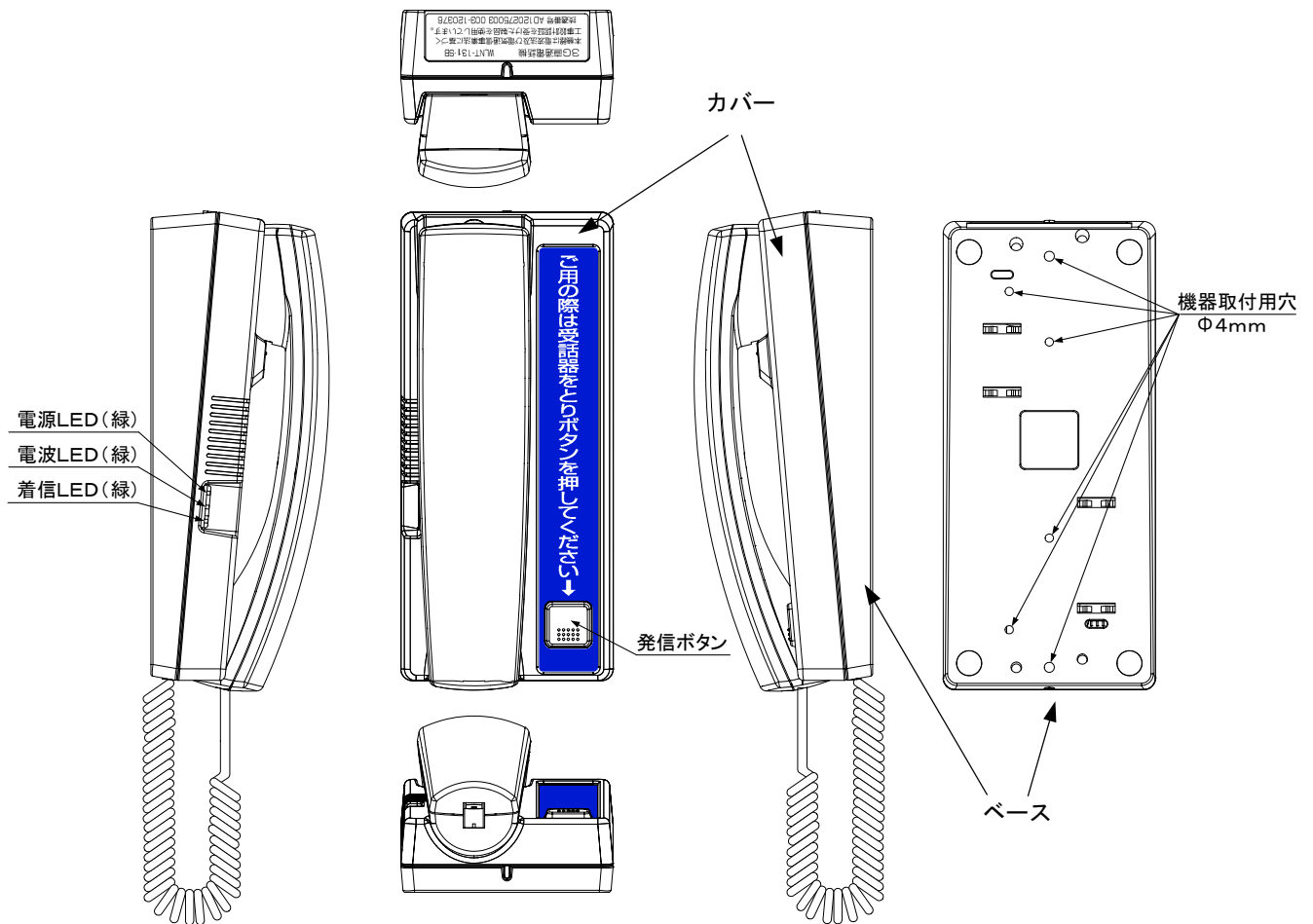
1. 概要

本マニュアルでは、ちょくでん君Ⅲ（ＷＬＮＴ－１３１－ＳＢ）の設置方法及び設定方法を説明します。

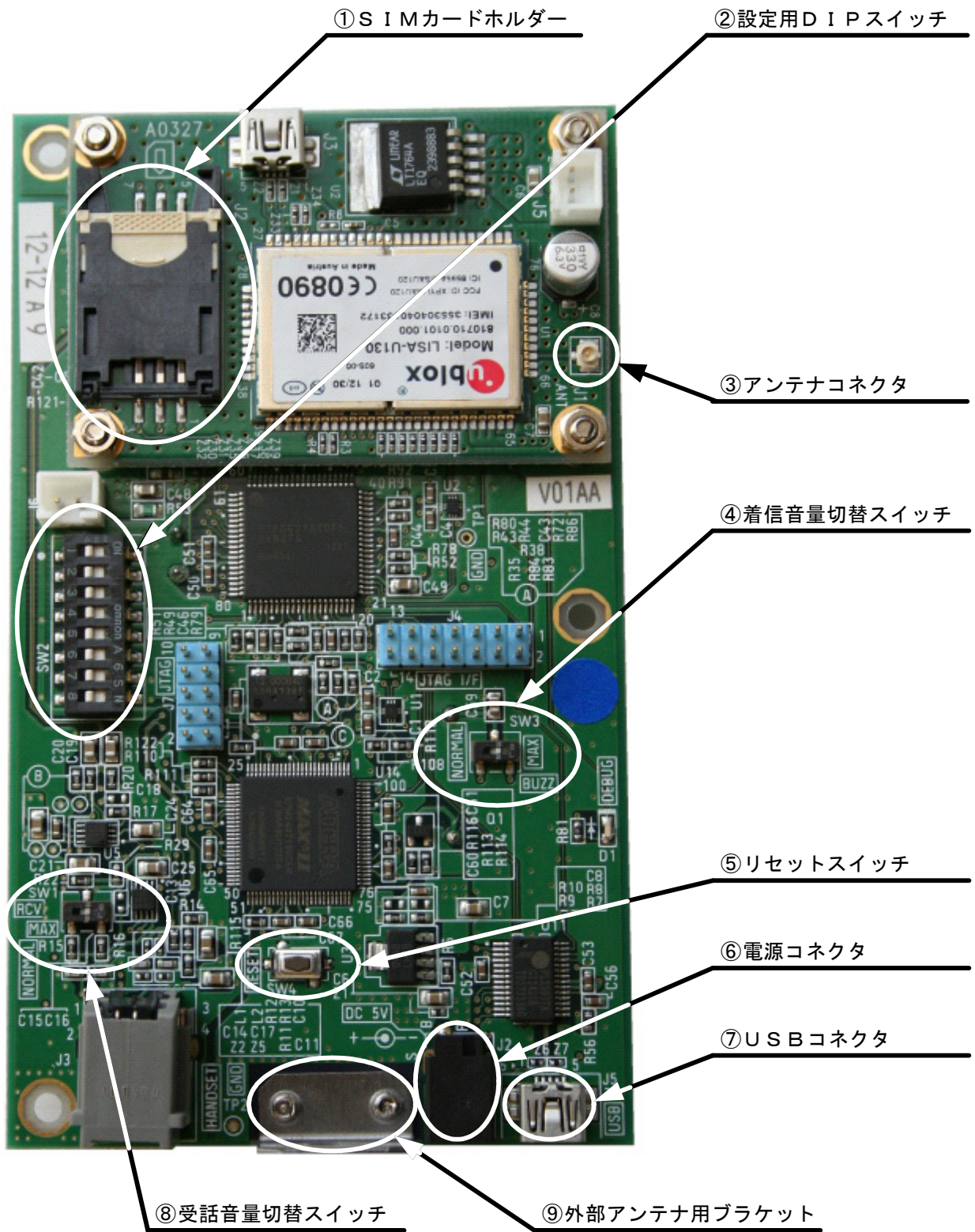
2. 用意する物

No	名称	規格等
1	ﾊﾟｿｺﾝ	Microsoft Widnows XP SP3 以上/Vista/7 (32bit 版のみ)
2	USB ｹｰﾌﾞﾙ	USB A - Mini USB B
3	ﾀｰﾐﾅﾙｿﾌﾄ	Tera Term※ Ver 4.75 以上 Tera Term は「Tera Term Project」が開発するフリーソフトウェアであり BSD ライセンスの元に配布されます。 詳細は下記 URL を参照して下さい。（こちらから無償でダウンロードが可能です。） http://ttssh2.sourceforge.jp/index.html.ja
4	ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰｿﾌﾄ	PL2303 Prolific DriverInstaller v1.7.0.exe 詳細は下記 URL を参照して下さい。（こちらから無償でダウンロードが可能です。） http://www.prolific.com.tw/UserFiles/files/PL2303_Prolific_DriverInstaller_v1_7_0.zip
5	(+)ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ	M3

3. 各部の名称と機能

3.1. 機器外部

電源 LED（緑）	電源状態/起動状態表示	DC5V 供給時：常時点灯 起動中：1 秒点灯／1 秒消灯繰返し点滅 電源 OFF 時：消灯 保守モード及びファームウェアアップデートモード時:常時点灯
電波 LED（緑）	受信電波状態表示	受信電波良好時：常時点灯 受信電波微弱時:1 秒点灯／1 秒消灯繰返し点滅 受信電波なし（圏外）時：消灯
着信 LED（緑）	着呼表示/モード表示	通話及び待ち受け時：消灯 着呼許可番号着呼時：250ms 点灯／250ms 消灯繰返し点滅 保守モード及びファームウェアアップデートモード時:常時点灯

3.2. 機器内部

①ＳＩＭカードホルダー
②設定用ＤＩＰスイッチ
③アンテナコネクタ
④着信音量切替スイッチ
⑤リセットスイッチ
⑥電源コネクタ
⑦ＵＳＢコネクタ
⑧受話音量切替スイッチ
⑨外部アンテナ用ブラケット

①　ＳＩＭカードホルダー

SIMカードを挿入します。

取扱い上の注意

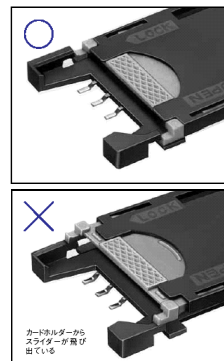
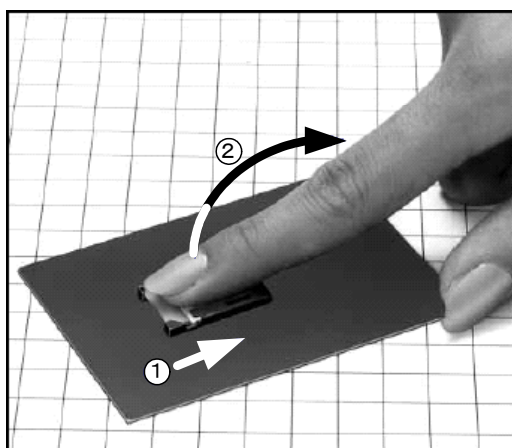
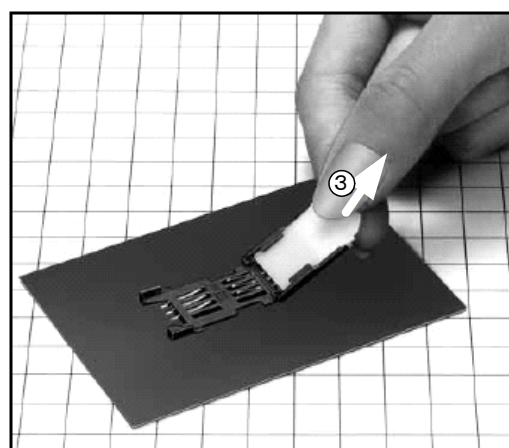
1）SIMカードが入っている状態のカードホルダーを開ける際に、直接SIMカードを持ち上げてロックを解除することは避けて下さい。ロック機構破損の原因となります。

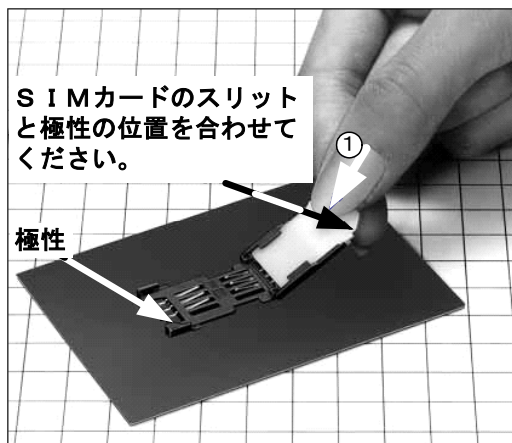
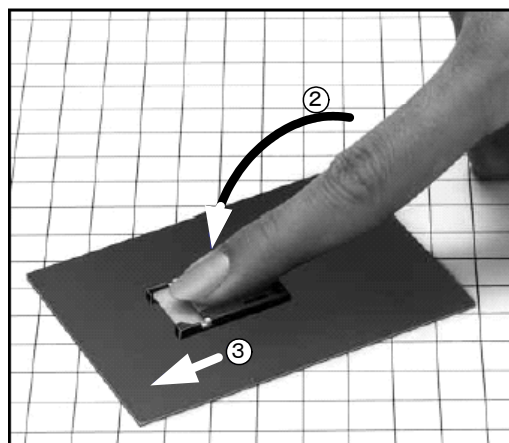
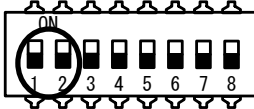
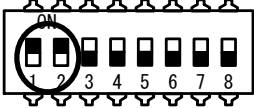
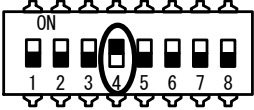
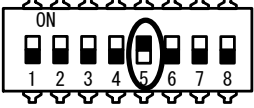
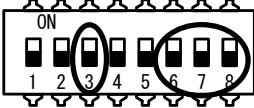
2）カードホルダーは回転方向のみ動く様な構造のため、他方向に引張ることや無理な力をかけることは避けて下さい。

3）スライダーがカードホルダーから飛び出ている状態で、カードホルダーを閉めないで下さい。ロック機構破損の原因となります。（右の写真をご参照下さい。）

4）ロックが完全にかかっていない場合、接触不良の原因となります。

5）活線挿抜（注1）は行わないで下さい。

（注1）活線挿抜とは、「電気を流したまま挿抜を行うこと」です。

ホルダーカバーの開け方

スライダーを押しながらカードホルダーの「OPEN」表示方向に移動させる。
この時ロックが解除され、カードホルダーがフリーの状態になります。

SIMカードをカードホルダーから抜く様に取り外します。

ホルダーカバーの閉め方

カードホルダーにSIMカードを挿入します。

カードホルダーを閉めて、スライダーを押しながらカードホルダーの「LOCK」表示方向に移動させると「カチッ」という音と同時にロックが掛かります。

② 設定用ＤＩＰスイッチ

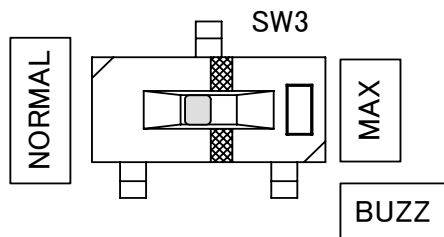
<u>注意：このスイッチは電源投入時及びリセット時に有効になります。</u>
<u>設定を変更した場合は電源を投入し直すか、リセットボタンを押して下さい。</u>

機能	説明	出荷時設定	スイッチ状態
通常運用モード	この状態で使用します。	1:OFF 2:OFF	
保守モード	機器の設定を行う時に使用します。 （５．機器設定参照）		
アップデートモード	ファームウェアを更新する時に使用します。 （８．ファームウェアアップデート参照）		
発信モード	発信動作を選択します。 OFF: ボタンを押して発信します。 ON:　オフフックで発信します。	4:OFF	
初期化	機器の設定を全て消去します。 OFF: 通常 ON:　消去	5:OFF	
工場試験用	全てOFFで使用して下さい。	3:OFF 6:OFF 7:OFF 8:OFF	

③ アンテナコネクタ

外部アンテナ使用時は内蔵アンテナを外して接続します。

④ 着信音量切替スイッチ

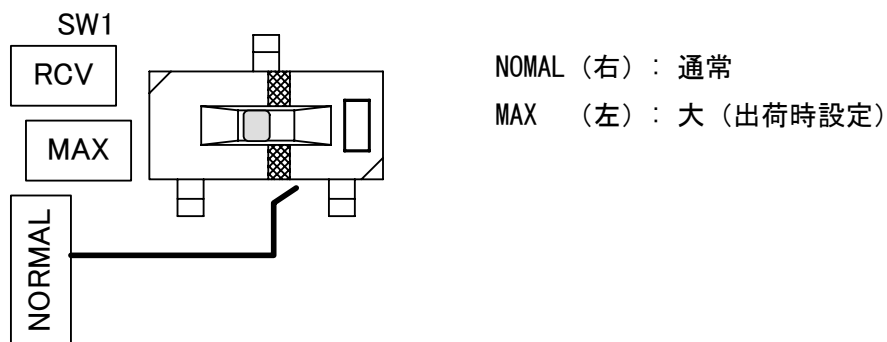
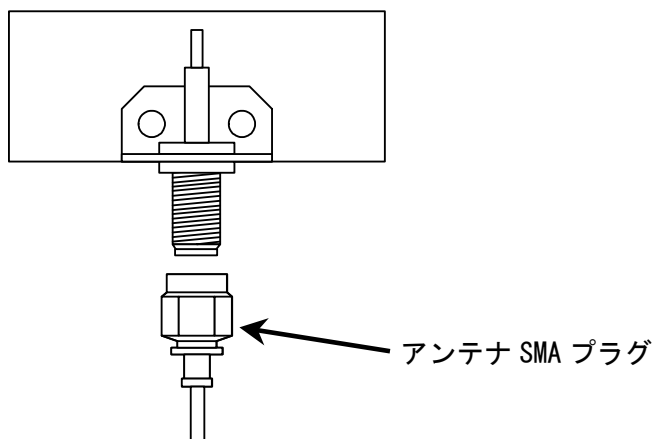
着信ベル（ＢＵＺＺ）音量の選択を行います。

NOMAL（左）：通常（出荷時設定）
MAX　（右）：大

⑤　リセットスイッチ
　機器のリセットを行います。

⑥　電源コネクタ
　専用のＡＣアダプタを接続します。

⑦　ＵＳＢコネクタ
　ＵＳＢケーブルでパソコンと接続します。

⑧　受話音量切替スイッチ
　受話音量の選択を行います。

NOMAL（右）：通常
MAX　（左）：大（出荷時設定）

⑨　外部アンテナ用ブラケット
　外部アンテナ用のＳＭＡ変換ケーブルを取付けます。

4. 機器取付け方法

（１）　卓上に設置する場合はベースに添付のゴム足を貼り付けてください。

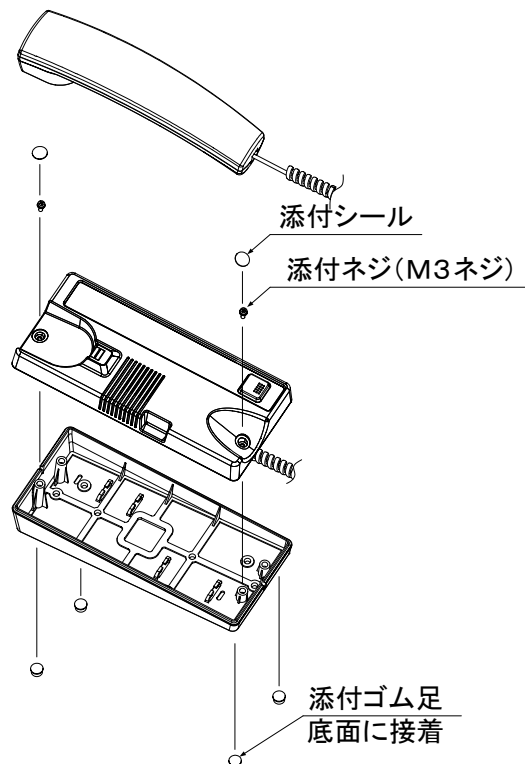
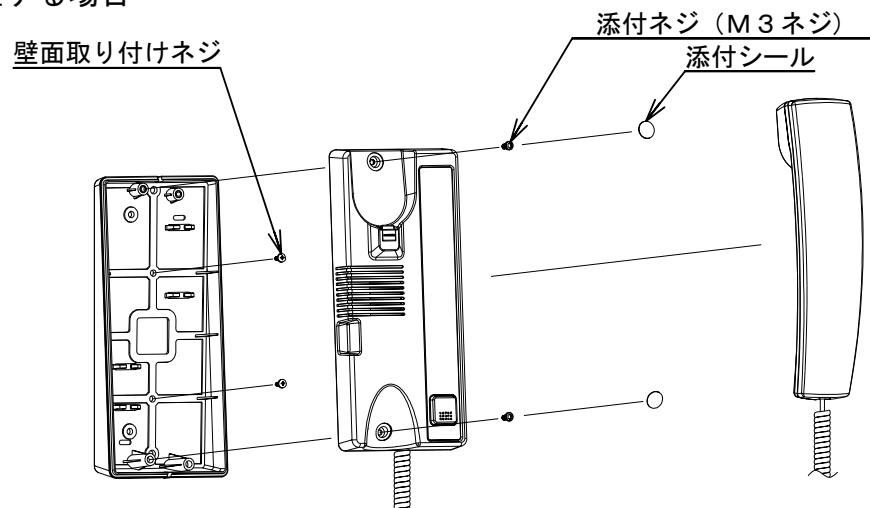
（２）　壁面に設置する場合は、ベースにφ４㎜の取付け穴が６個有りますので、
　　　φ３～３．５㎜のタッピングネジ等を使用して２箇所以上で壁面に固定してください。

（３）　電源のケーブルを機器に接続し、カバーをベースに取り付けます。

（４）　添付のネジ（Ｍ３ネジ　２本）でカバーとベースを固定します。

（５）　添付の目隠しシールを貼り付けます。（２ヶ所）

<u>**＊SIM カードの挿入や機器の設定は取付け前に行って下さい。**</u>

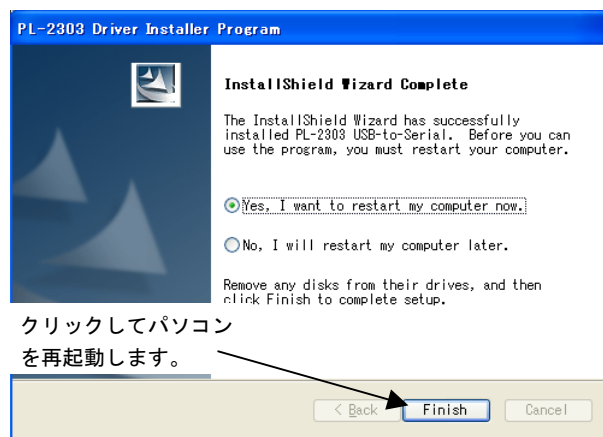
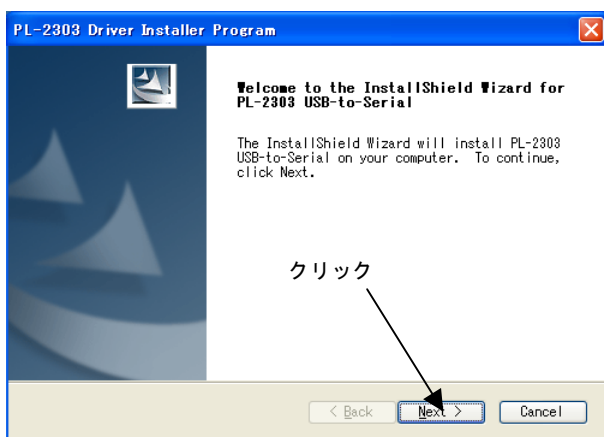
4.1. 卓上に設置する場合

4.2. 壁面に設置する場合

5. 機器設定

5.1. 設定準備

電話機の電源が OFF であることを確認してください。 (AC アダプタがコンセントから外れている)

電話器には SIM を実装しておいてください。

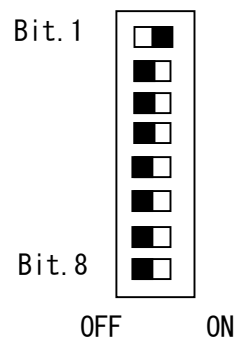
（1） ドライバーソフトのインストール

ダウンロードした PL2303_Prolific_DriverInstaller_v1_7_0.zip を解凍して PL2303_Prolific_DriverInstaller_v1.7.0.exe をクリックします。

設定用 DIP スイッチの Bit1 を ON にしてください。

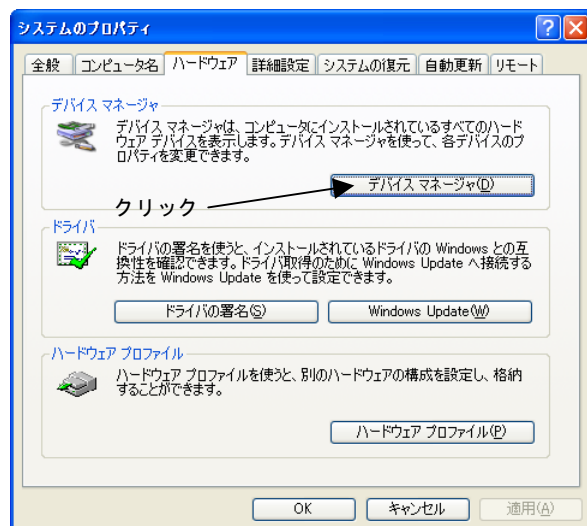
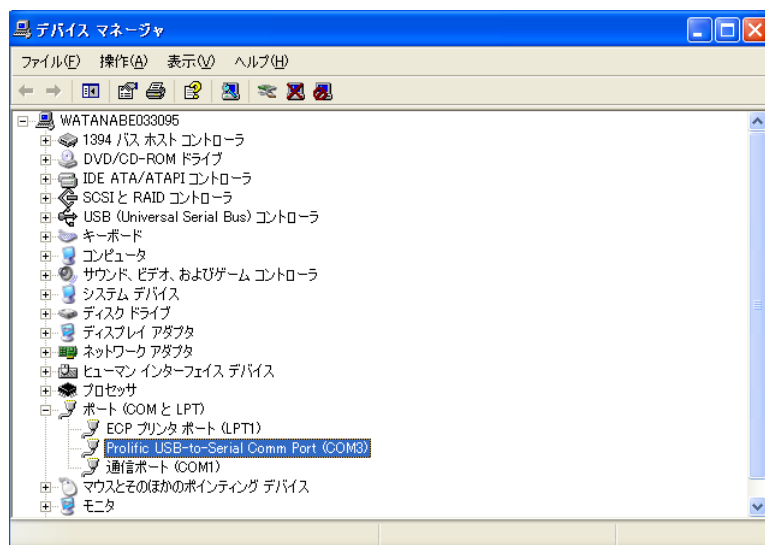
パソコンを USB ケーブルで電話機と接続してください。

電話機の電源を ON にしてください。

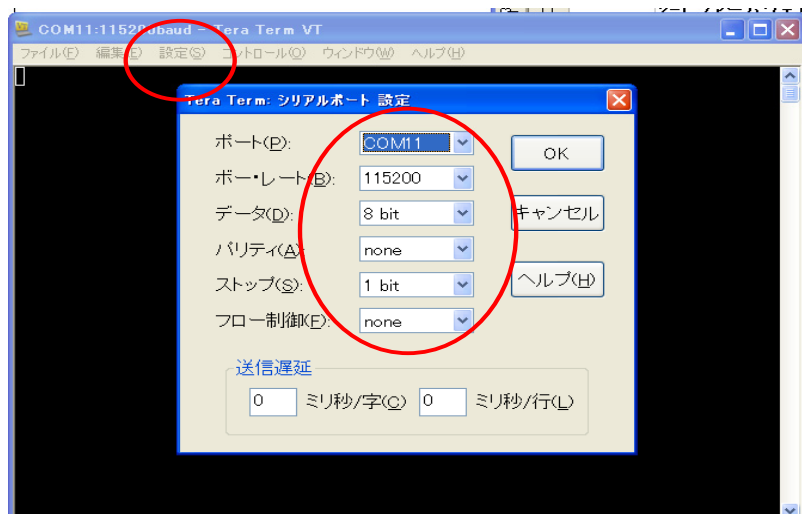
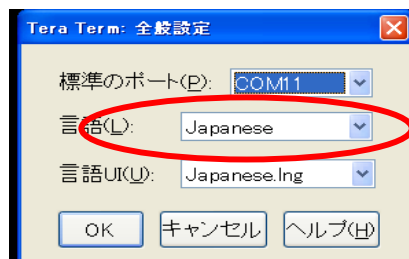
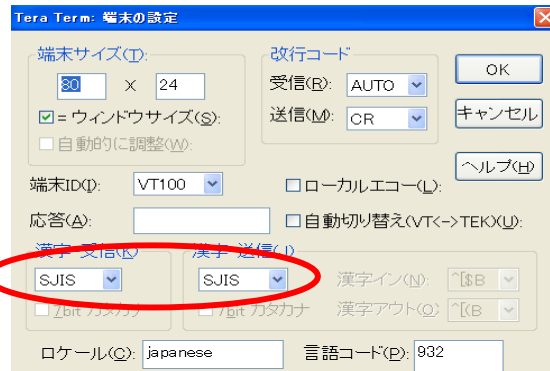
（AC アダプタがコンセントに接続されていることを確認してください。）

電話機の電源 LED がゆっくり点滅（ 1 秒の点滅）を開始します。

Windows の［スタート］をクリックし、

［コントロールパネル-システム-デバイス マネージャー］

を選択します。

ポート(COM と LPT) に
Prolific USB-to-Serial Comm Port(COM*)
が追加されている事を確認します。
(COM 番号はパソコンや接続状況により
異なります。)

（２）Tera Term の起動

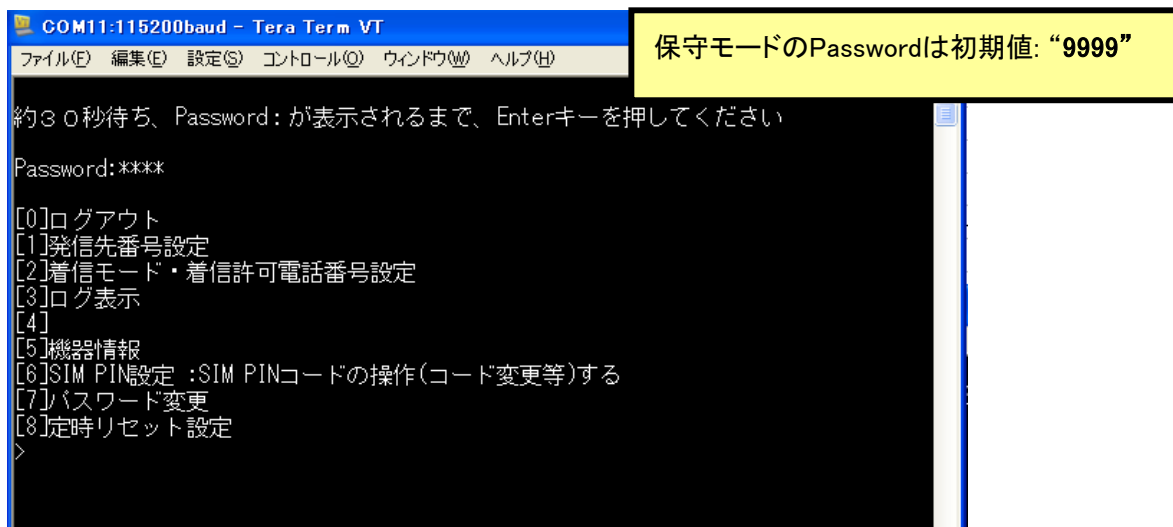
パソコンの Tera Term を起動します。(Tera Term の Ver.4.75 以上)
Tera Term の設定を行います。ポートは電話機の電源を ON したときに割り当てられるものを使用します。

①シリアルポート

②全般

③端末

電源 ON による電話機の初期化（約 1 分程度、その間電源 LED が 1 秒点滅）後に、電源 LED と着信 LED が点灯します。（※電源 LED と着信 LED 両方が点灯せず、LED が点滅し保守モードの設定ができない場合は、アラーム No.1 の可能性があり、初期データ異常と考えられます。出荷設定値の書込み後、再度保守モードを立ち上げてください。詳細はアラームリストを参照してください）

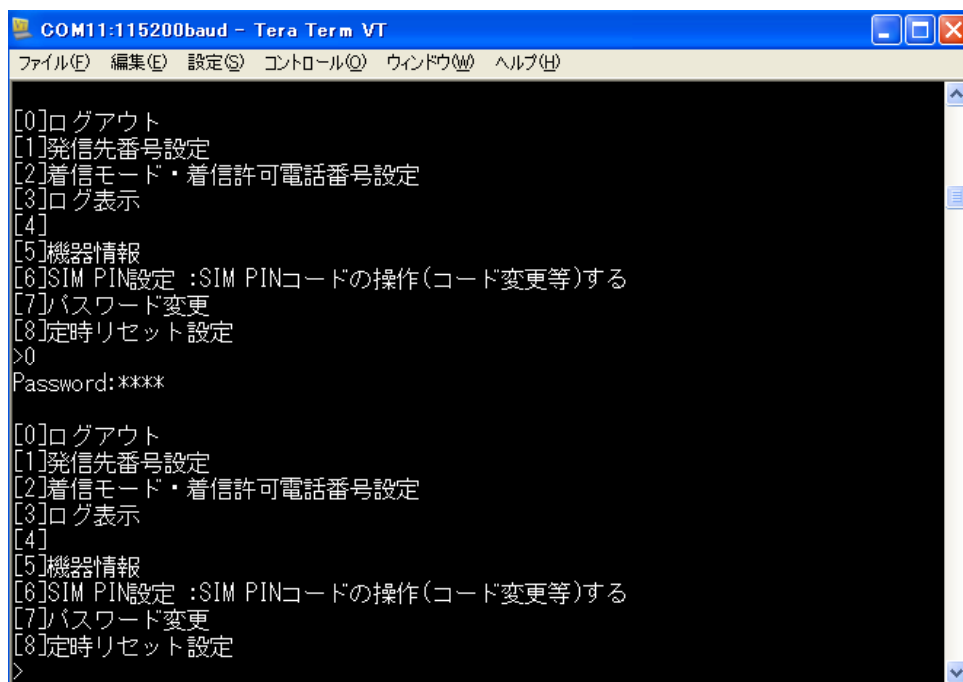
初期化終了後は、Enter キーを押すと パソコンの画面上に「Password : 」が表示されます。

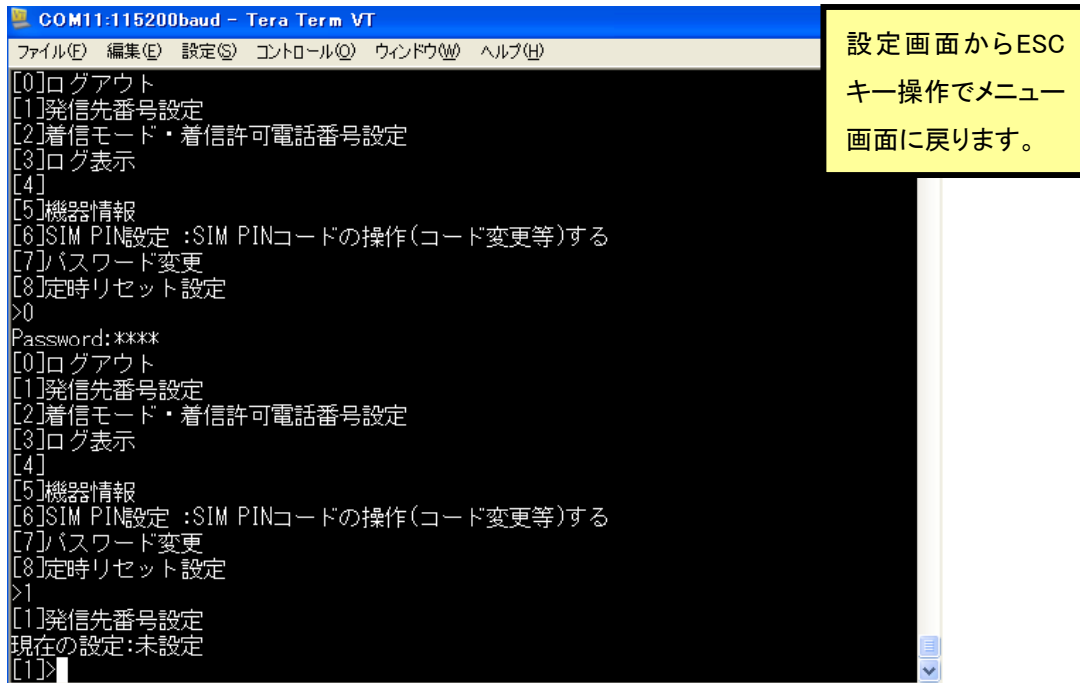
※電源 ON 及び基板上のリセットスイッチを ON にすると下記メッセージ（約３０秒待ち、Password:が表示されるまで、Enter キーを押してください）が表示されます。

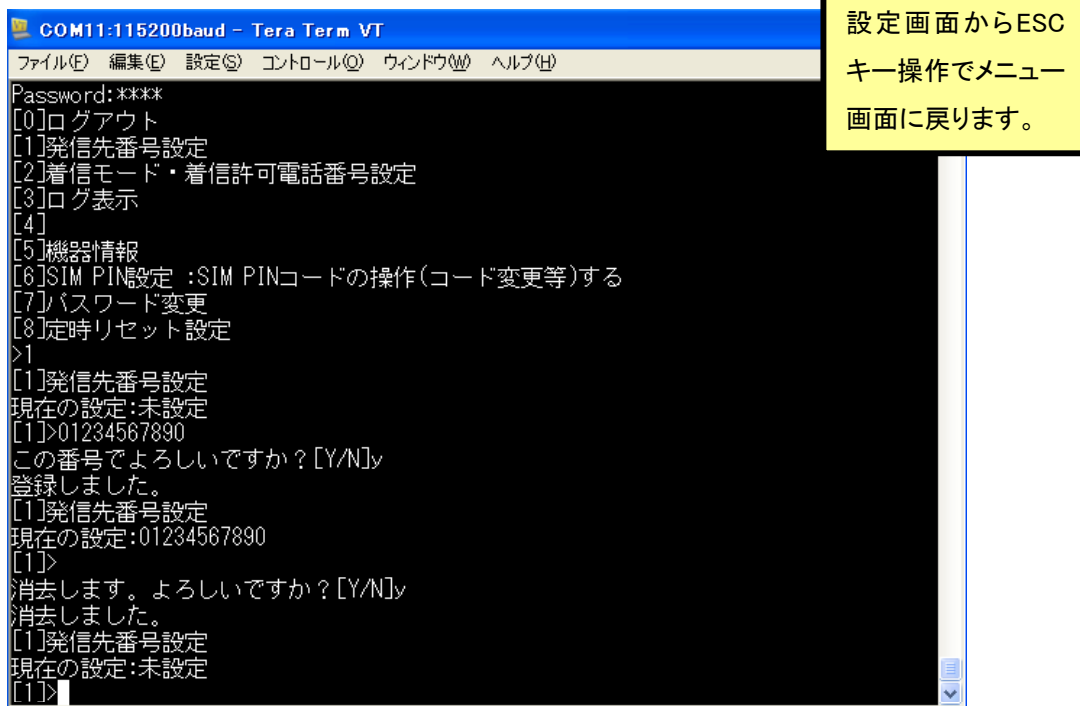
（但し、電源 ON ではパソコンの Tera　Term 接続までの時間経過で、メッセージが出ないこともあります）

5.2. 保守モードメニュー画面

5.3. [0] ログアウト

保守モードメニュー画面からログアウトします。

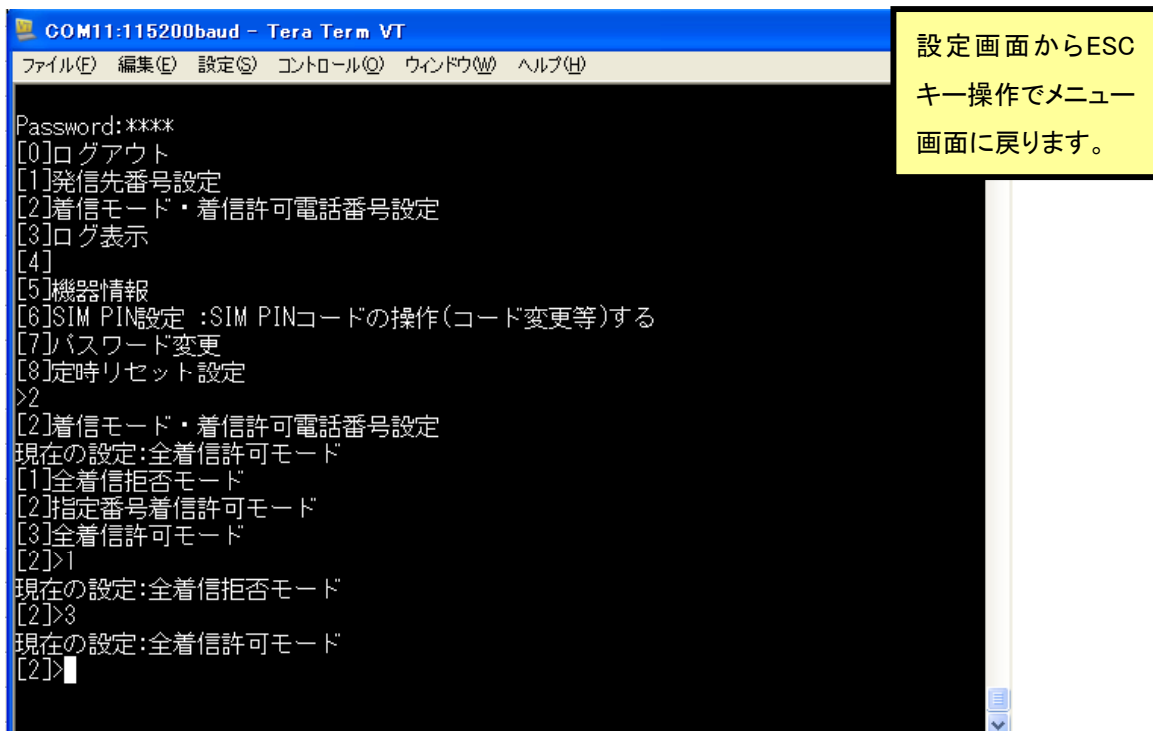
再度 Password 入力でメニュー画面に戻ります。

5.4. [1] 発信先番号設定

発信先番号の確認及び設定を行います。登録がない場合は「未設定」になっています。

10 桁或いは 11 桁の番号を入力して設定します。

数字無しで Enter キーを操作すると消去となります。

5.5. [2] 着信モード・着信許可電話番号設定

着信モードの確認及びモード設定を行います。

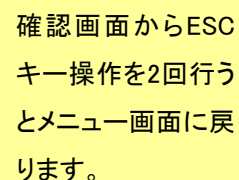
メニュー画面で”2”を入力し、着信モード設定状態から、 “1”を入力すると着信のモードは 「全着信拒否モード」となります。

同様に”3”を入力すると着信のモードは 「全着信許可モード」となります。

メニュー画面で”2”を入力し、着信モード設定状態から”2” を入力すると着信のモードは 「指定番号着信許可モード」となり、登録されている番号が表示されます（20 件分）

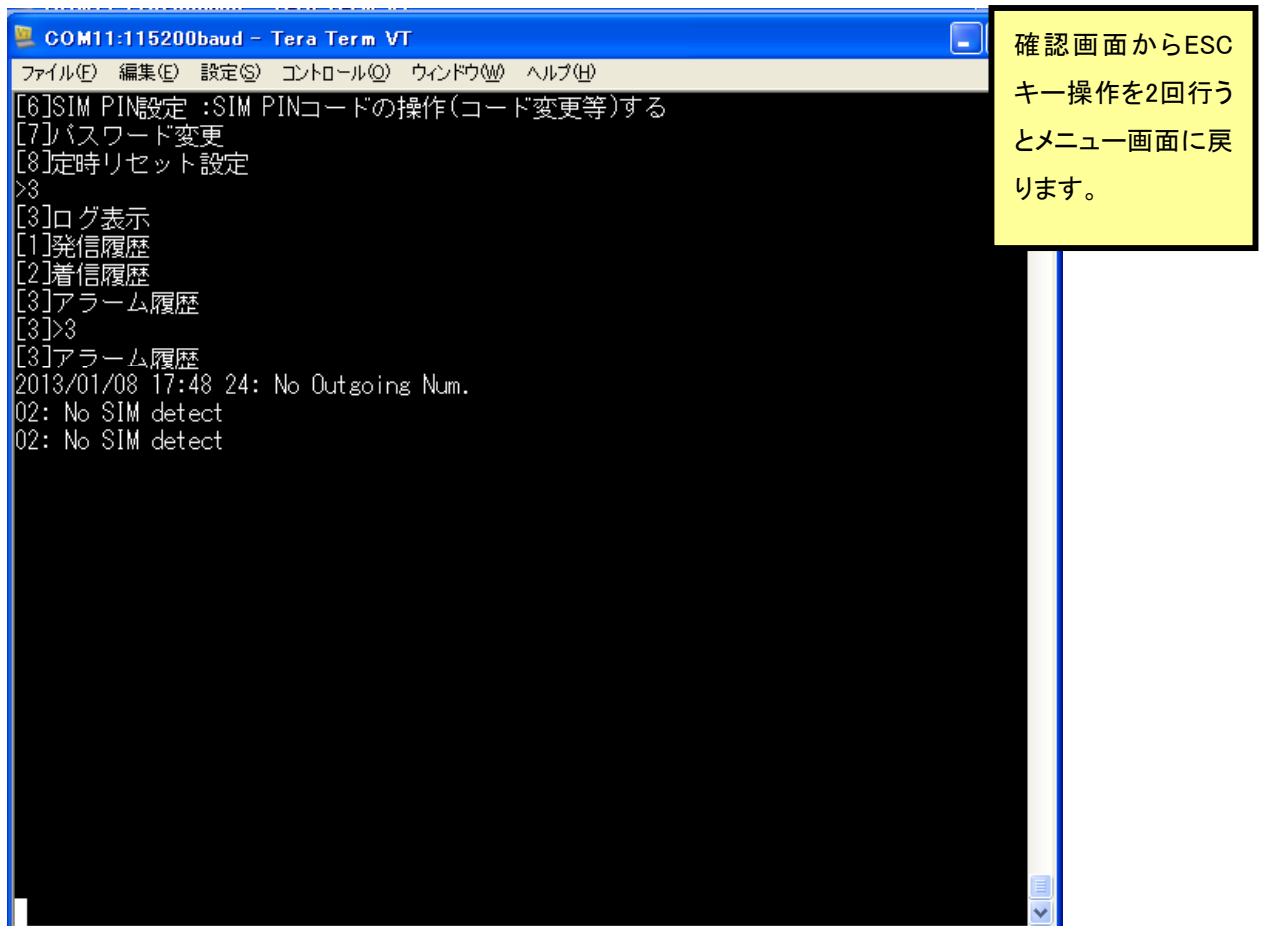
1～20 までの数字入力で指定番号の着信番号を選択し変更することができます。登録方法は発信先番号設定の場合と同様に 10 桁或いは 11 桁の番号を入力します。

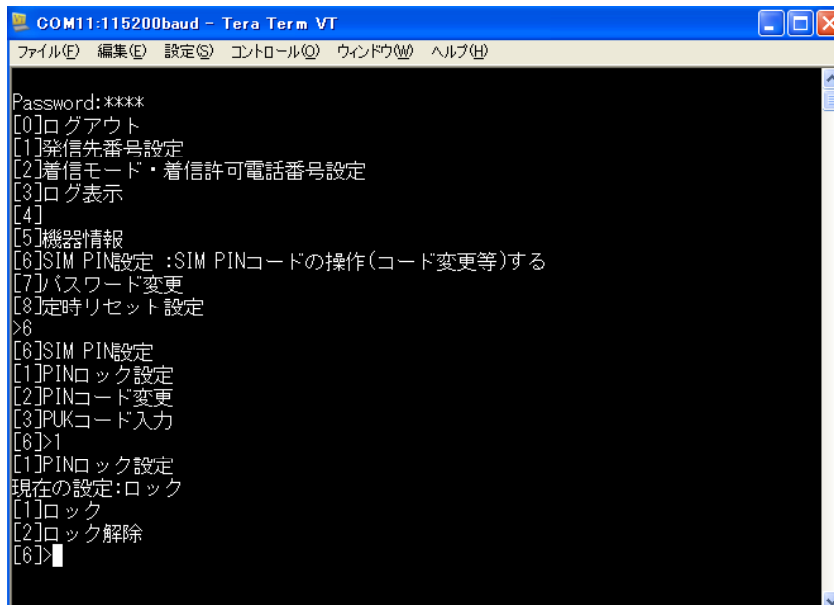
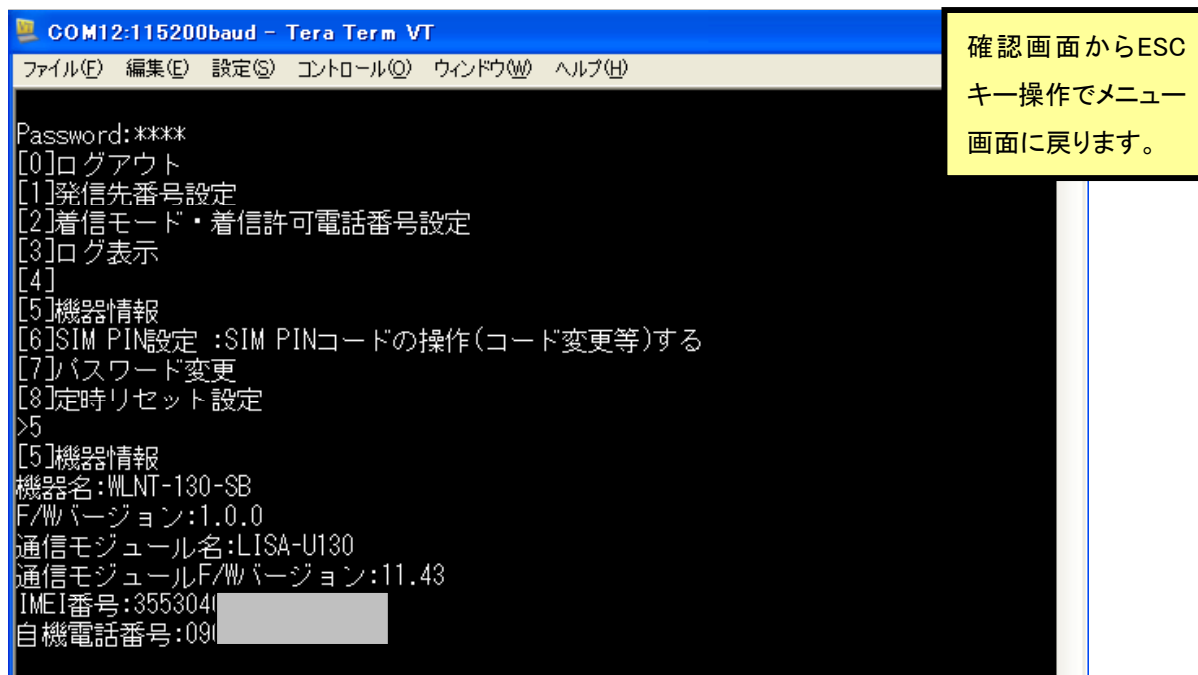
5.6. [3] ログ表示

履歴を確認できます。

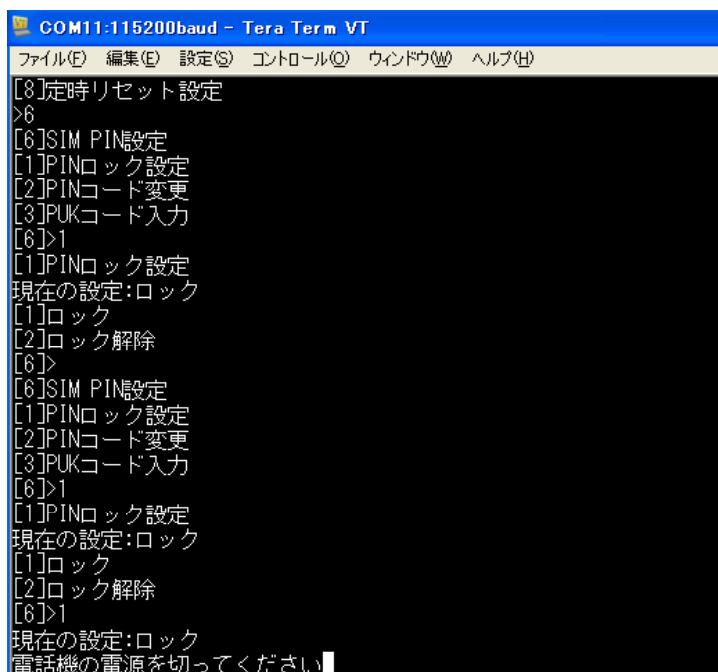
“1”を入力すると発信履歴、”2”を入力すると着信履歴の確認が確認できます。
発信履歴は最大30件、着信履歴も最大30件が表示されます。

“3”　を入力するとアラーム履歴の確認が確認できます。

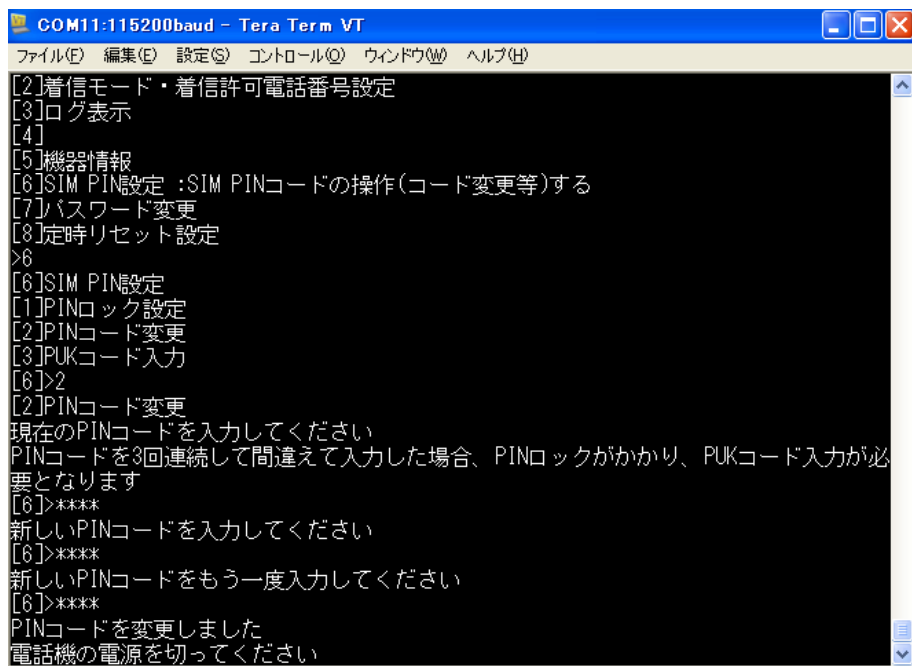
アラームの内容はアラームリストを参照してください。

アラーム履歴は 20 件分が表示されます。履歴がない場合は空欄となります。

5.7. [5] 機器情報表示

本電話機の機器情報　、電話機本体のファームウエアのバージョン、通信モジュールのファームウエアのバージョン、IMEI 番号及び自局の電話番号表示の確認ができます。

注：　機器名は WLNT-130-SB と表示されます。

5.8. [6] PIN コードの設定

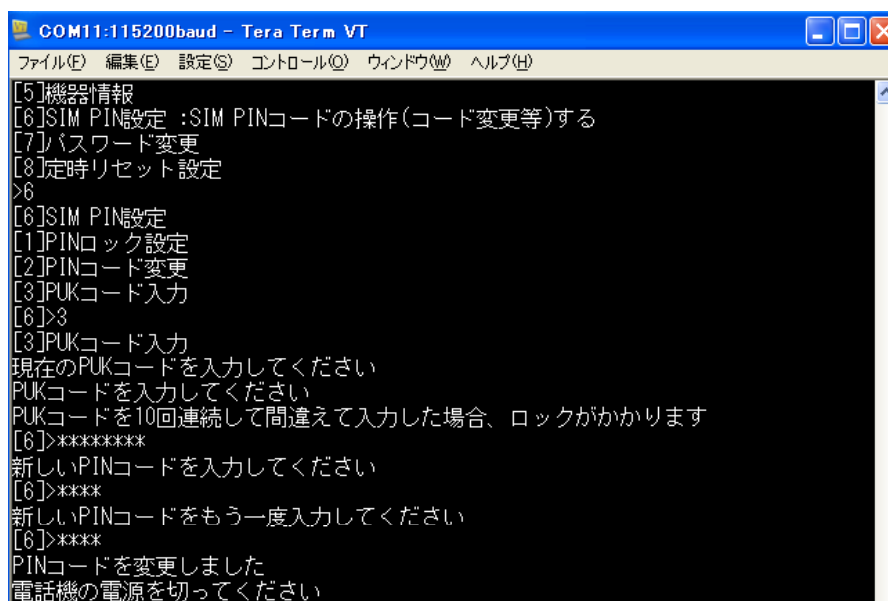
SIM カードの PIN コードの操作（ロック設定、PIN コード設定変更等）を行います。

SIM　PIN ロック状態の確認及び設定を行います。

設定画面からESCキー操作を2回行うとメニュー画面に戻ります。

SIM　PIN ロックの変更は、ロックからロックの解除、ロック解除からロックだけでなく同じ設定にした場合でも電話機の電源を一旦 OFF するかリセットスイッチを ON することで設定が確定します。尚、「電話機の電源を切ってください」と言うメッセージがでますと他のキー操作を受け付けなくなります。

PINコードの変更　（SIM　PINロック状態のときに変更可能）

現在のPINコードを入力し、新しいPINコードを入力します。

注意：3回連続で間違えるとPUKコード入力が必要となります。

尚､｢電話機の電源を切ってください｣と言うメッセージがでますと他のキー操作を受け付けなくなります。

設定画面からPINコード変更途中であれば、ESCキー操作を2回行うとメニュー画面に戻ります。

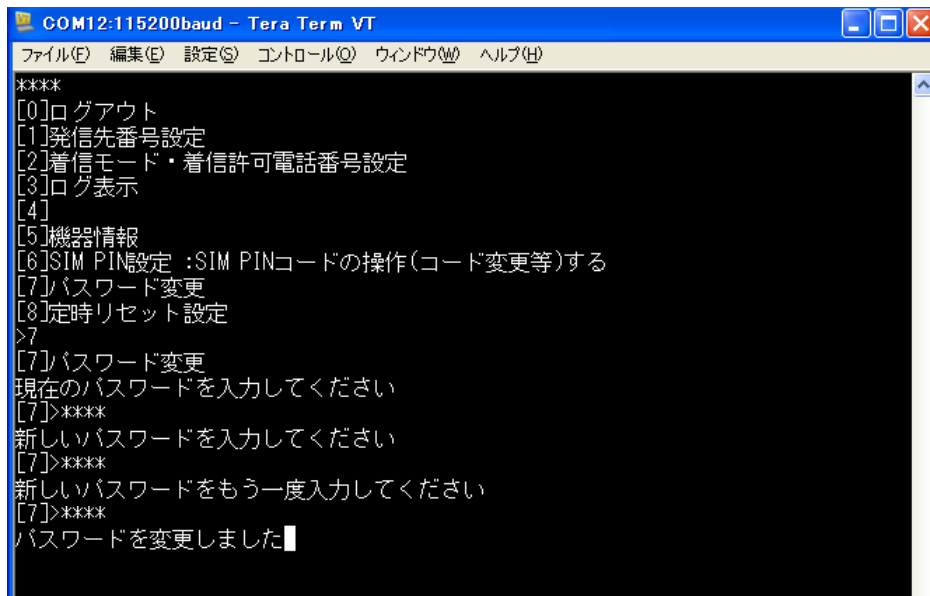
PUK状態でのPINコードの入力は、　PINコードを3回連続で間違えた場合に設定可能になります。

注意：PUKコード入力は、10回連続で間違えるとロックがかかりSIMカードが使用できなくなりますので、注意してください。

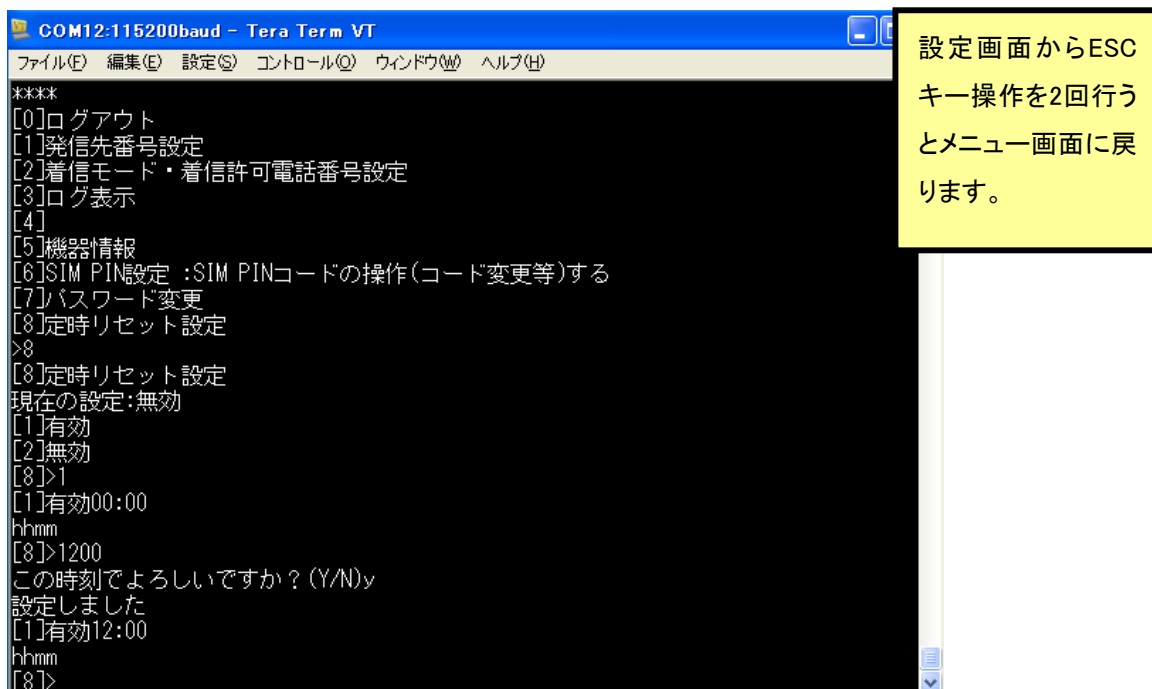
5.9. [7] パスワード変更設定

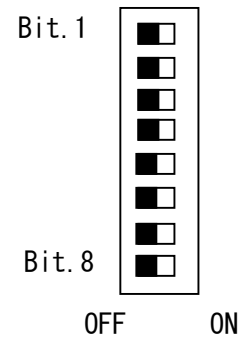
保守モードのパスワード設定を行います。

パスワードは、半角英数字 4 文字以上、10 文字以内で設定可能です。

尚、工場出荷の初期設定値は　“9999”　となっております。

5.10. [8] 定時リセット設定

定時リセットの確認と設定を行います。定時リセットは設定した日の翌日から有効となり、

1 日 1 回指定した時刻に本電話機を再起動させることが可能です。

6. 保守モード設定終了後

保守モードの確認及び設定が終了した後は、電話機の電源をOFFにしてください。
またUSBコードを電話機及びパソコンから外してください。
設定用DIPスイッチ　を全てOFF　にしてください。

各モードへの変更は、
①通常運用モードに変更する場合は､設定用DIPスイッチ全てをOFFのままにして電源を入れてください。
②モニターモードに変更する場合、設定用DIPスイッチのBit.2をONにして電源を入れてください。
③ファームウェアアップデートモードに変更する場合、設定用DIPスイッチのBit.1及びBit.2をONにして、電源をいれてください。
（詳細は、下記「ファームウェアアップデート」　を参照してください）

7. ファームウェアアップデート

7.1. ファームウェアアップデートの準備

電話機の電源が OFF であることを確認してください。

設定用 DIP スイッチの Bit1 及び Bit2 を ON　にしてください。

Bit.1

OFF　ON

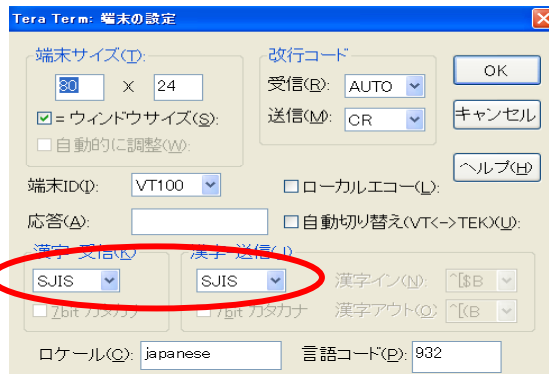
パソコンを USB ケーブルで電話機と接続してください。

電話機の電源を ON にしてください。(AC アダプタがコンセントに接続されていることを確認してください。)　電話機の電源 LED 及び着信 LED が点灯します。

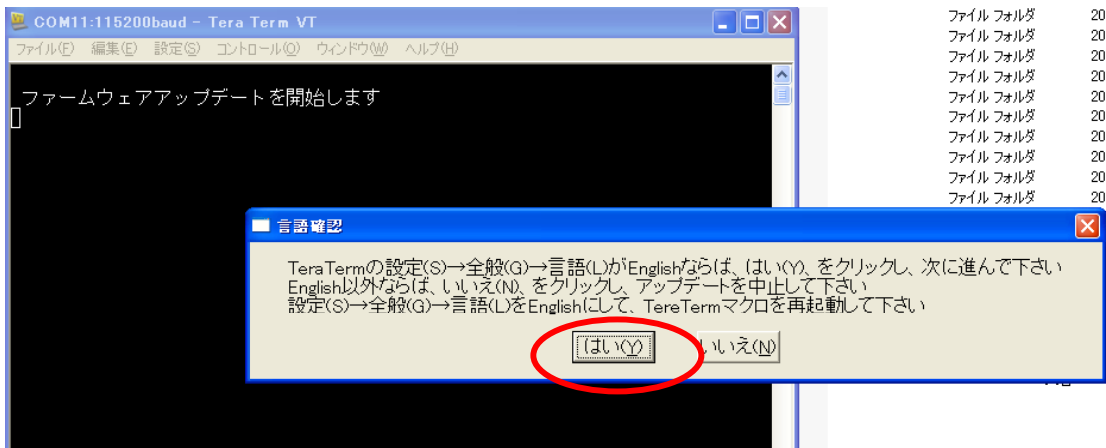
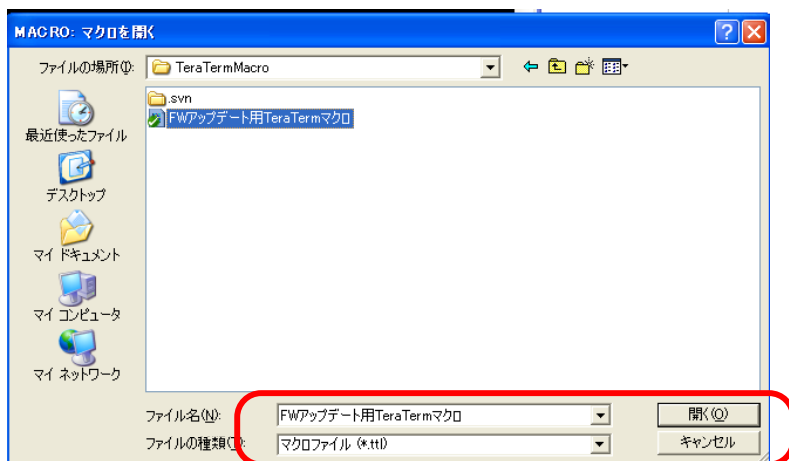
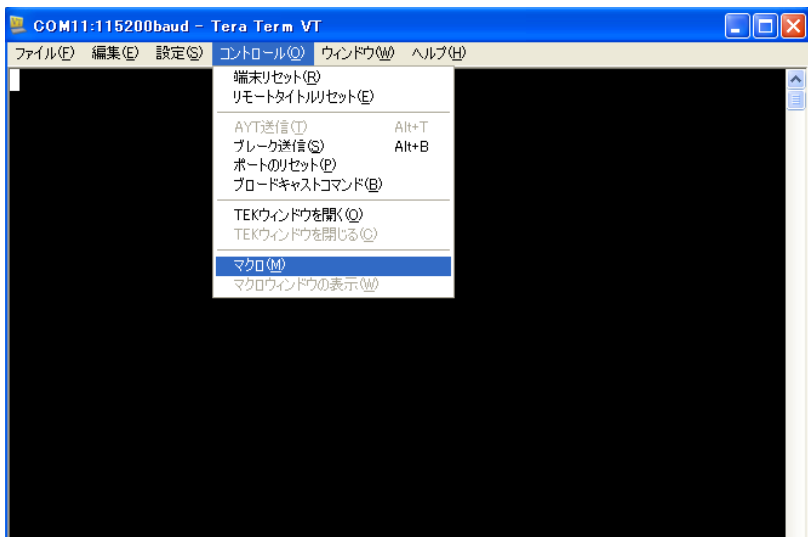
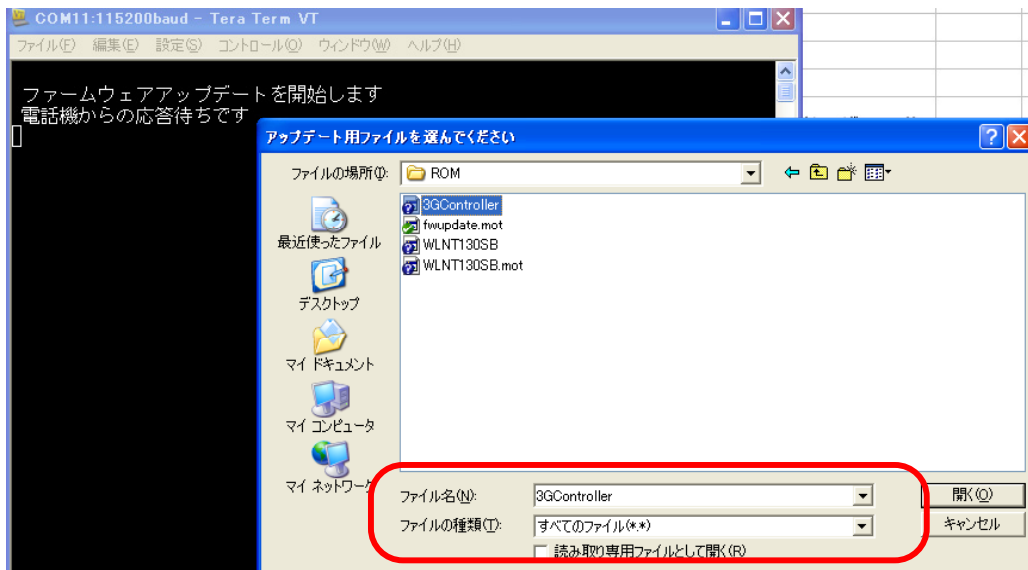
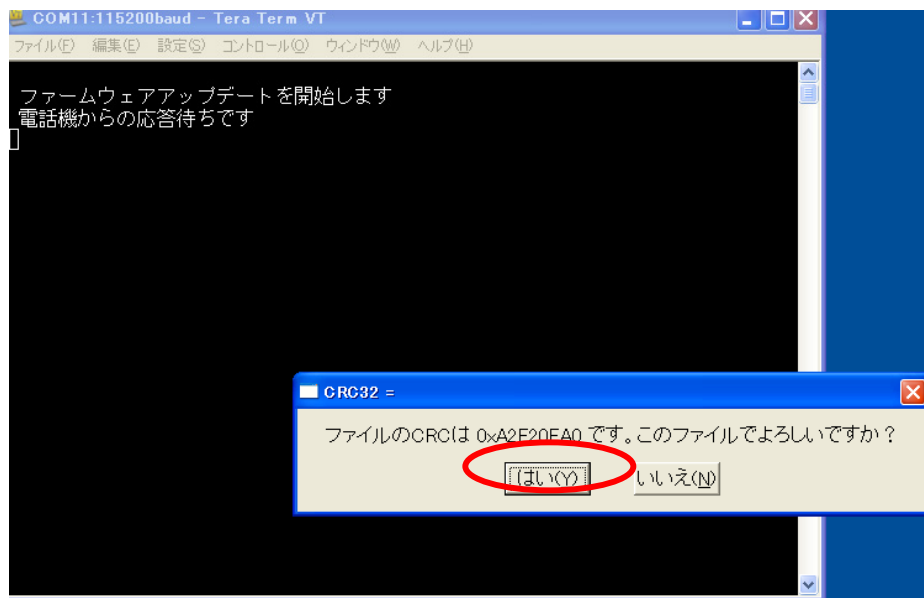
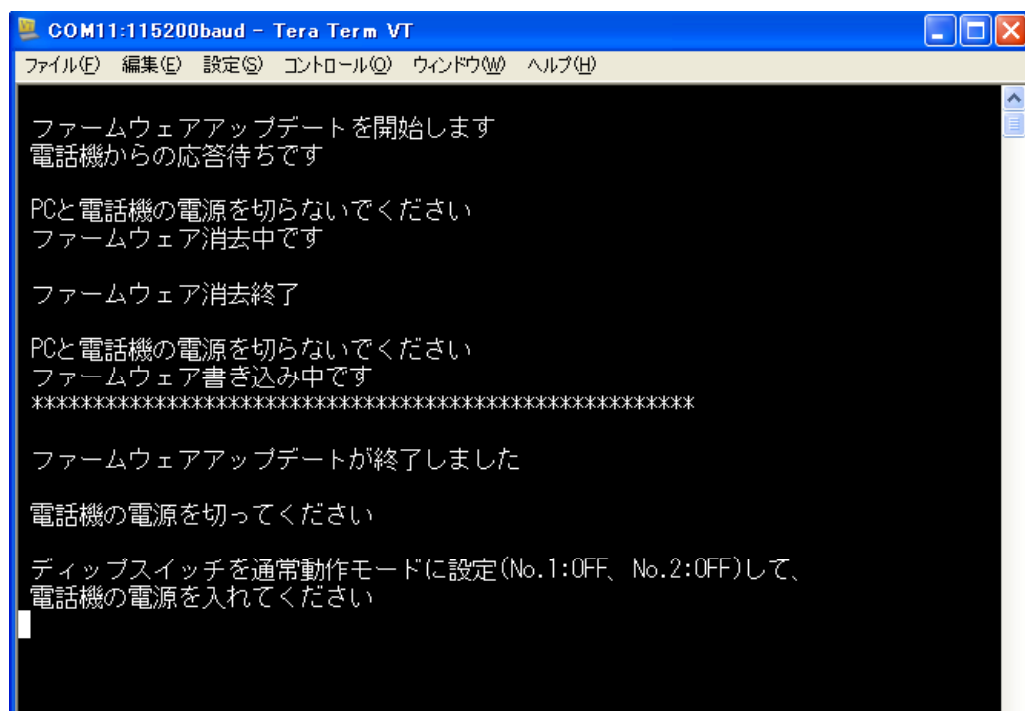
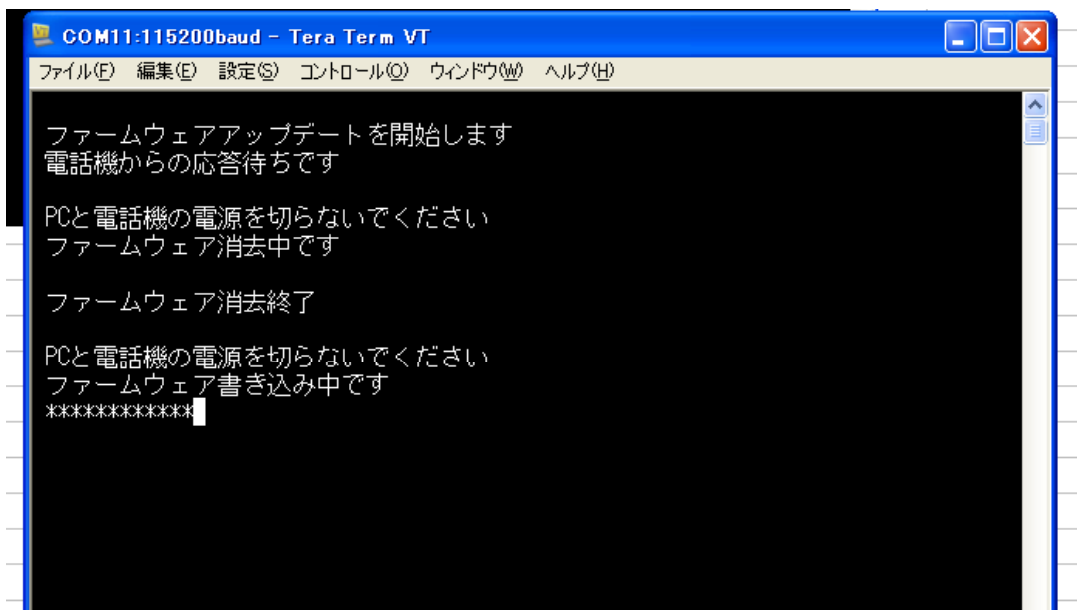
パソコンの Tera Term を起動します。(Tera Term の Ver.4.75 以上)

Tera Term の設定を行います。ポートは電話機の電源を ON したときに割り当てられるものを使用します。

②全般

③端末

7.2. ファームウェアアップデート開始

Tera Term のマクロを起動します。　ツールバーの　コントロール（O）　-> マクロ（M）　から

ポップアップメッセージでマクロファイル　（FW アップデート用 TeraTerm マクロ.ttl）を選択します。

ポップアップメッセージで言語(L)に English に設定されていれば（P23 の②参照）「はい」を選択し、アップデートするファイルをファームウェアのデータが入っているフォルダから選択します。

アップデートするファイル　(3GController.bin)　を選択して、書込みを開始します。
CRC が表示されるので、確認します。（下図は Ver.1.0.0 の場合）

ファームウェアの書込み中

書込み終了の確認は、電源 LED　電波 LED　着信 LED 全て点灯で正常に終了しています。

電話機の電源を OFF にしてください。

また USB コードを電話機及びパソコンから外してください。

設定用 DIP スイッチ　を全て OFF　にして通常運用モードに戻してください。

7.3. ファームウェアアップデートできない場合

書込み途中**** のメッセージで止まる場合や書込み終了後に全ての LED が消灯している場合は､再度最初の電話機の電源 OFF から行ってください。

※書込み途中*** で止まる場合は、パソコンを変更して確認してみてください。

8. その他

8.1. アラームリスト

No.	ログ表示	内容と検出条件	想定原因	動作モード	状態
1	System error	CPU データフラッシュ領域のパラメータが設定範囲外の場合。	出荷データ書込み無し	通常運用モード モニターモード 保守モード	初期化中
2	No SIM detect	SIM 無し検知。 （通信モジュールの応答）	・SIM の故障 ・SIM 未挿入 ・SIM の挿入ミス	通常運用モード モニターモード 保守モード	初期化中
3	SIM error	SIM 異常検知。 （通信モジュールの応答）	・SIM の故障	通常運用モード モニターモード 保守モード	初期化中
4	Wrong PIN Code	PIN コード不一致検知。 （通信モジュールの応答）	・SIM の故障 ・SIM が替った	通常運用モード モニターモード 保守モード	初期化中
5	Need PUK Code	SIM　PUK 状態検知。 （通信モジュールの応答）	PIN コード入力 3 回失敗した SIM カードの挿入	通常運用モード モニターモード 保守モード	初期化中
6	AT command error	AT コマンド送信失敗。 （通信モジュールの応答）	通信モジュールとの交信異常	通常運用モード モニターモード 保守モード	初期化中
20	No Signal	受信電波無し。	・電波状態による。 ・アンテナ接続不良	通常運用モード モニターモード	通常状態
21	SIM error	SIM 無し検知。 （通信モジュールの応答）	・SIM の故障 ・SIM 未挿入 ・SIM の挿入ミス	通常運用モード モニターモード	通常状態
22	AT com. Error	AT コマンド送信失敗。 （通信モジュールの応答）	通信モジュールとの交信異常	通常運用モード モニターモード	通常状態
23	AT com. Error (Mainte)	AT コマンド送信失敗。 （通信モジュールの応答）	通信モジュールとの交信異常	保守モード	通常状態
24	No Outgoing Num.	発信先電話番号未登録で発信操作。 発信先番号の設定がされていない。		通常運用モード モニターモード	通常状態
26	Not registed Network	Network 外れの検知。 （通信モジュールの応答）	Network から電話機が外れた。	通常運用モード モニターモード	通常状態

8.2. 同梱品

本製品（WLNT-131-SB）には下記のものが同梱されています。

No.	品　　名	数量
1	ちょくでん君Ⅲ（本体、カールコード、受話器）	１個
2	カバー／ベース固定用 M3 ネジ	２個
3	カバー／ベース固定ネジ用目隠しシール	１０枚
4	卓上設置用ゴム足	４個
5	AC アダプター	１個
6	CD-ROM（設定ツール、ドライバ等）	１個